

くすりのしおり

外用剤

2020年04月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力がが必要です。

商品名: デスマプレシン・スプレー10 協和

剤形写真準備中

主成分: デスマプレシン酢酸塩水和物 (Desmopressin acetate hydrate)

剤形: 点鼻用スプレー剤

シート記載: (ラベルの記載) KH408 デスマプレシン・スプレー10 協和

この薬の作用と効果について

脳の下垂体から分泌されて、尿量を調節する抗利尿ホルモン「バソプレシン」と同じような働きを持ちます。腎の尿細管における水の再吸収を促して尿を濃縮し、夜間のバソプレシン分泌不足が関係して起きる夜尿（おねしょ）を防ぐ点鼻用スプレー剤です。

通常、尿浸透圧あるいは尿比重の低下に伴う夜尿症の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。低ナトリウム血症、高血圧、冠動脈血栓症、狭心症、下垂体前葉不全、鼻疾患がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、1回1噴霧（主成分として10 μ g）を、1日1回就寝前に鼻腔内にスプレーします。効果不十分な場合は、1日1回2噴霧（20 μ g）に増量されますが、1日最高用量は2噴霧です。必ず指示された使用方法に従ってください。
- ・初めて使用する場合や1週間以上使用していなかった時は、ポンプを数回（4回程程度）押し薬が霧状に出ることを確認してください。使用する前には吸収を安定させるため鼻をかんでから使用してください。使用する時には、ビン内側のチューブの先が薬液の中に入っている状態で一気にスプレーしてください。別にお渡しする説明書に従って、早く、確実に使用できるようにしてください。
- ・夜寝る前に排尿をしてから、この薬を使ってください。
- ・使い忘れた場合は、翌日から夜寝る前に使用してください。絶対に2回分を一度に使ってははいけません。
- ・誤って多く使った場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で使うのを止めないでください。

生活上の注意

- ・医師からの生活指導を守ってください。
- ・夕食後より翌朝までに飲む水の量は、医師の指示に従い、極力飲まないようにしてください。医師の指示以上に飲んでしまった場合はこの薬は使用しないでください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、頭痛、食欲不振、吐き気、嘔吐、顔面浮腫、腹痛、鼻出血、発熱、不眠、傾眠、鼻部不快感などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・全身がだるい、頭痛、吐き気 [水中毒]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、高温を避け、瓶を立てた状態で保管してください。
- ・携帯する時は、収納ケースに入れ、バッグなどに立てた状態で入れて携帯してください。（ポケットなど、体温が直接伝わりところに入れると薬液がもれることがあります。）
- ・旅行などでこの薬を携帯する場合には、高温の場所はさけて、極力温度差の少ない場所に保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局や医療機関に相談してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。